【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】令和7年5月14日(2025.5.14)

【国際公開番号】WO2024/070251
【出願番号】特願2024-549826(P2024-549826)
【国際特許分類】
Ｆ０１Ｎ　3/28(2006.01)
Ｂ０１Ｊ 33/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０１Ｎ　3/28　３１１Ｎ
Ｆ０１Ｎ　3/28　３１１Ｓ
Ｆ０１Ｎ　3/28　３１１Ｐ
Ｆ０１Ｎ　3/28
Ｂ０１Ｊ 33/00　　ＧＺＡＢ

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月28日(2025.2.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
無機繊維を含み、第１及び第２の主表面を有する基材マットの、前記第１及び第２の主表面の少なくとも一方に、有機物から構成された複数の基部と、前記複数の基部のそれぞれから少なくとも２方向に延伸する繊維とによりネットワークが形成されていることを特徴とするマット材。
【請求項２】
前記複数の基部の各々の最大幅は、前記ネットワークを形成する前記繊維の幅よりも大きい請求項１に記載のマット材。
【請求項３】
前記ネットワークを形成する前記繊維のガラス転移点は、前記複数の基部を構成する前記有機物のガラス転移点より高い請求項１又は２に記載のマット材。
【請求項４】
前記ネットワークは、三次元的に形成されている請求項１又は２に記載のマット材。
【請求項５】
前記ネットワークを形成する前記繊維は、有機繊維及び無機繊維の少なくとも一方で構成されている請求項１又は２に記載のマット材。
【請求項６】
無機繊維を含み、第１及び第２の主表面を有する基材マットの、前記第１及び第２の主表面の少なくとも一方に、複数の繊維が交絡して形成された繊維束と、単繊維とによりウェブが形成されていることを特徴とするマット材。
【請求項７】
延伸方向が互いに異なる複数の前記繊維束を含み、
前記ウェブは、複数の前記繊維束と前記単繊維とにより形成されている請求項６に記載のマット材。
【請求項８】
前記繊維束及び前記単繊維の少なくとも一方は、湾曲している請求項６又は７に記載のマ

ット材。
【請求項９】
前記ウェブは、三次元的に形成されている請求項６又は７に記載のマット材。
【請求項１０】
前記繊維束及び前記単繊維は、それぞれ、有機繊維及び無機繊維の少なくとも一方で構成されている請求項６又は７に記載のマット材。
【請求項１１】
排ガスが流通する排ガス処理体と、
前記排ガス処理体の外周に巻き付けて使用される保持シール材と、
前記保持シール材が巻き付けられた前記排ガス処理体を収容するケーシングと、
を備える排ガス浄化装置であって、
前記保持シール材は、請求項１、２、６又は７に記載のマット材であることを特徴とする排ガス浄化装置。
【請求項１２】
無機繊維を含み、第１及び第２の主表面を有する基材マットを準備する基材マット準備工程と、
少なくとも２方向に延伸する繊維を含むシート材を準備するシート材準備工程と、
前記シート材にホットメルトパウダーを散布して加熱し、前記シート材に前記ホットメルトパウダーを付着させるシート材加工工程と、
前記基材マットの前記第１及び第２の主表面の少なくとも一方に、前記ホットメルトパウダーが付着した前記シート材を熱圧着し、前記シート材を前記基材マットに貼り付けるシート材貼付工程と、を有することを特徴とするマット材の製造方法。